

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	成人看護学実習 I	分野	専門分野 II	単位数	2	時間数	90	開講	通年
目的	成人期の周手術期における対象を理解し、周手術期看護が実践できる。 基礎的能力を身につける。								
目標	1. 患者の病態と行なわれている検査・治療について理解できる。								
	2. 手術による身体への影響（手術侵襲・生体反応）について理解できる。								
	3. 手術前に行われる処置の必要性を理解し、安全に手術を受けるための援助ができる。								
	4. 手術についての説明と患者・家族の受け止めについて理解できる。								
	5. 手術中に行われる治療と患者の状態を理解できる。								
	6. 手術後の手術侵襲を理解し、合併症を起こさず身体機能が回復していくための援助ができる。								
	7. 患者が新しい自己（自己概念の変化）を受け入れ、自立していくための援助が理解できる。								
履修資格	*履修ガイドの半田常滑看護専門学校細則 第9条（履修の条件）参照								
教科書、参考書等	系統看護学講座 別巻1 臨床外科看護総論, 医学書院, 2018. 成人看護学 周手術期看護, NOUVELLE HIROKAWA, 平成30年. 高齢者と成人の周手術期看護 術中/術後の生体反応と急性期看護, 第2版医歯薬出版株式会社, 2109.								
評価方法	担当教員と指導者の協議の上で到達度を総合的に評価する。  指定の記録及びレポート提出も必須である。  総合評価はA・B・C・Dとし、Dは不合格となり単位の修得はできない。								
履修上の注意点	この実習の単位を修得していない場合、統合分野の臨地実習は履修できない。								

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	成人看護学実習Ⅱ	分野	専門分野Ⅱ	単位数	2	時間数	90	開講	通年
目的	リハビリテーション段階にある成人の看護が実践できる基礎的能力を身につける。								
目標	1. 患者の身体的・心理的・社会的状況を把握し、障害の原因や看護上の問題がわかる。								
	2. 健常機能の保持及び残存機能の維持・拡大への援助ができる。								
	3. 患者が障害を受容または克服し、自ら積極的にリハビリテーションに取り組めるための援助ができる。								
履修資格	*履修ガイドの半田常滑看護専門学校細則 第9条(履修の条件)参照								
教科書、参考書等	系統看護学講座 成人看護学総論①, 医学書院, 2017. 系統看護学講座 運動器, 医学書院, 2017. 系統看護学講座 リハビリテーション看護, 医学書院2017. QOLを高める リハビリテーション看護, 医歯薬出版株式会社, 2016.								
評価方法	担当教員と指導者の協議の上で到達度を総合的に評価する。 指定の記録及びレポート提出も必須である。 総合評価はA・B・C・Dとし、Dは不合格となり単位の修得はできない。								
履修上の注意点	この実習の単位を修得していない場合、統合分野の臨地実習は履修できない。								

2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	成人看護学実習Ⅲ	分野	専門分野Ⅱ	単位数	2	時間数	90	開講	通年
目的	生命の危機状態にある成人の看護が実践できる基礎的能力を身につける。								
目標	1. 救急搬送される傷病者とプレホスピタルケアを理解する。								
	2. 救命救急センターを受診する患者の特徴と行われている看護を理解する。								
	3. 集中治療を受ける患者と集中治療室における看護の特徴を理解する。								
	4. 手術室の特殊性と術中の看護を理解する。								
履修資格	*履修ガイドの半田常滑看護専門学校細則 第9条（履修の条件）参照								
教科書、参考書等	系統看護学講座 救急看護学, 医学書院, 2018. 系統看護学講座 臨床外科看護総論, 医学書院, 2017. 成人看護学 周手術期看護論, NOUVELLE HIROKAWA, 平成29年.								
評価方法	担当教員と指導者の協議の上で到達度を総合的に評価する。  指定の記録及びレポート提出も必須である。 課題は決められた期日までに提出すること。 期日内に記録及びレポートが提出されなければ評価の対象とならない。  総合評価はA・B・C・Dとし、Dは不合格となり単位の修得はできない。								
履修上の注意点	この実習の単位を修得していない場合、統合分野の臨地実習は履修できない。								

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	老年看護学実習 I	分野	専門分野 II	単位数	2	時間数	90	開講	通年
目的	さまざまな場所で生活する高齢者の特徴を理解し、高齢者の生活を整えるための看護が実践できる基礎的能力を身につける。								
目標	1. 地域で生活している高齢者の特徴を理解する。								
	2. 介護老人保健施設の特徴とその施設を利用する高齢者への支援の方法を理解する。								
	3. 加齢に伴う機能低下や疾病に伴う障害が日常生活に及ぼす影響を理解する。								
	4. 高齢者の日常生活を整えるための援助を実施する。								
	5. 高齢者と円滑な人間関係を築くことができる。								
履修資格	*履修ガイドの半田常滑看護専門学校細則 第9条 (履修の条件) 参照								
教科書、参考書等	系統看護学講座 老年看護学, 医学書院, 2017. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論, 医学書院, 2018. これなら使える看護診断, 医学書院, 2016. 看護診断のためのよくわかる中範囲理論, 学研, 2017. 実践! 看護診断を導く情報収集・アセスメント, 学研, 2016. NANDA-I 看護診断 定義と分類2015/2017, 医学書院, 2016.								
評価方法	担当教員と指導者の協議の上で到達度を総合的に評価する。  指定の記録及びレポート提出も必須である。  総合評価はA・B・C・Dとし、Dは不合格となり単位の修得はできない。								
履修上の注意点	この実習の単位を修得していない場合、統合分野の臨地実習は履修できない。								

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	老年看護学実習Ⅱ	分野	専門分野Ⅱ	単位数	2	時間数	90	開講	通年
目的	健康障害のある高齢者の特徴を理解し、高齢者の状況に応じた看護が実践できる基礎的能力を身につける。								
目標	1. 健康障害のある高齢者の特徴を理解する。								
	2. 高齢者の健康障害の回復・悪化予防のための看護を実施する。								
	3. 高齢者のエンドオブライフケアを理解する。								
	4. 高齢者と円滑な人間関係を築くことができる。								
履修資格	*履修ガイドの半田常滑看護専門学校細則 第9条(履修の条件)参照								
教科書、参考書等	系統看護学講座 老年看護学, 医学書院, 2017. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論, 医学書院, 2018. これなら使える看護診断, 医学書院, 2016. 看護診断のためのよくわかる中範囲理論, 学研, 2017. 実践! 看護診断を導く情報収集・アセスメント, 学研, 2016. NANDA-I 看護診断 定義と分類2015/2017, 医学書院, 2016.								
評価方法	担当教員と指導者の協議の上で到達度を総合的に評価する。 指定の記録及びレポート提出も必須である。 総合評価はA・B・C・Dとし、Dは不合格となり単位の修得はできない。								
履修上の注意点	この実習の単位を修得していない場合、統合分野の臨地実習は履修できない。								

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	小児看護学実習	分野	専門分野Ⅱ	単位数	2	時間数	90	開講	通年
目的	健康・健康障がいに関わらず小児各期における成長・発達の特徴を理解し、小児と家族への看護が実践できる基礎的能力を身につける。								
目標	1. 健康な子どもを観察し関わりを通して、成長・発達の特徴と保育の視点が理解できる。								
	2. 心身の発達やことばに遅れのある子どもの特徴や、関わり方を理解できる。								
	3. 小児科外来の特徴や看護師の役割を理解し、小児と家族の状況に応じた診療の援助ができる。								
	4. 小児と家族の置かれている状況を理解し、対象に応じた看護が実施できる。								
履修資格	*履修ガイドの半田常滑看護専門学校細則 第9条 (履修の条件) 参照								
教科書、参考書等	系統看護学講座 小児看護学概論, 医学書院, 2017. 系統看護学講座 小児臨床看護各論, 医学書院, 2018.								
評価方法	担当教員と指導者の協議の上で到達度を総合的に評価する。 指定の記録及びレポート提出も必須である。 総合評価はA・B・C・Dとし、Dは不合格となり単位の修得はできない。								
履修上の注意点	この実習の単位を修得していない場合、統合分野の臨地実習は履修できない。								

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	母性看護学実習	分野	専門分野Ⅱ	単位数	2	時間数	90	開講	通年
目的	妊娠・分娩・産褥期にある対象を総合的に理解し、対象とその家族に対し、継続的な看護が実施できる基礎的能力を身につける。								
目標	1. 妊婦健診を通して、妊娠各期における妊婦を観察し、正常か否か理解できる。								
	2. 妊婦及び産後の健康管理の為の看護について理解し、保健指導の重要性がわかる。								
	3. 分娩各期に応じた進行状態が正常か否か判断でき、産婦とその家族に対する看護が実施できる。								
	4. 産褥経過を理解し、褥婦とその家族に対し、必要な看護が実施できる。								
	5. 正常に胎外生活に適応する為の、新生児の看護が実施できる。								
履修資格	*履修ガイドの半田常滑看護専門学校細則 第9条(履修の条件)参照								
教科書、参考書等	系統看護学講座 母性看護学概論, 医学書院, 医学書院, 2018. 系統看護学講座 母性看護学各論, 医学書院, 医学書院, 2018.								
評価方法	担当教員と指導者の協議の上で到達度を総合的に評価する。 指定の記録及びレポート提出も必須である。 総合評価はA・B・C・Dとし、Dは不合格となり単位の修得はできない。								
履修上の注意点	この実習の単位を修得していない場合、統合分野の臨地実習は履修できない。								

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	精神看護学実習	分野	専門分野Ⅱ	単位数	2	時間数	90	開講	通年
目的	精神疾患をもつ対象を実践するための基礎的知識と技術を学ぶ。								
目標	1. 精神疾患をもつ対象について理解できる。								
	2. 精神疾患をもつ対象に必要な治療環境や自立支援が理解できる。								
	3. 精神疾患をもつ対象の症状に応じた援助ができる。								
	4. 自己の内面の変化や自己のコミュニケーション方法を振り返り、自己理解できる。								
履修資格	*履修ガイドの半田常滑看護専門学校細則 第9条(履修の条件)参照								
教科書、参考書等	系統看護学講座 精神看護の基礎, 医学書院, 2017. 系統看護学講座 看護の展開, 医学書院, 2017. 精神看護学ノート, 医学書院, 2017.								
評価方法	担当教員と指導者の協議の上で到達度を総合的に評価する。 指定の記録及びレポート提出も必須である。 総合評価はA・B・C・Dとし、Dは不合格となり単位の修得はできない。								
履修上の注意点	この実習の単位を修得していない場合、統合分野の臨地実習は履修できない。								